



教育目標：自立 敬愛 精勵
ようがの学び舎 舍訓 責任 信頼 誇り



用賀中だより

～生徒が主人公である学校、地域と共に歩む学校～

学校だより7月号 令和7年7月吉日
ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校
校長 毛利 慎治

(PDFでも読みやすくなるよう、レイアウトを試行しています)

『生成AIとの適切な関係づくりを目指して』

～今こそ「使い方」を学ぶとき～
ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校
校長 毛利 慎治

近年、大きな注目を集めている生成AI。文章や画像、音楽などを自動的に作成するこの技術は、すでに私たちの生活の中に入り込み、学習環境も大きく変わり始めています。こうした変化の中で、中学生が生成AIとどのように向き合い、どう活用していくかを学ぶことは、これからの中学生において欠かせない課題の一つです。

そのような考え方のもと、用賀中学校では6月10日、特定非営利活動法人「みんなのコード」より千石一朗（せんごく・いちろう）先生を講師にお招きし、「AIと未来をつくる君たちへ～考える力と使う力～」というテーマで、全校生徒対象の講演を実施しました。

千石先生は、生成AIは「魔法の道具」ではなく、「正しく使えばとても役立つ便利な道具」であるとお話くださいました。AIは人間のように考えているわけではなく、過去の大量のデータをもとに、次に来そうな言葉を確率で選んで文章を作り出します。そのため、もっともらしい内容の中に誤った情報（いわゆる“ハルシネーション”）が含まれることがあるという点は、特に注意が必要です。

この講演後、生徒たちに実施したアンケートでは、「ハルシネーション」という言葉が200件以上の回答に登場し、多くの生徒が「AIが間違えることがある」という現実を強く印象に残したことが分かりました。その上で、「頼りすぎない」「鵜呑みにしない」「自分で考える」ことの大切さをあげる生徒が非常に多く、AIとの適切な距離の取り方を理解し始めている様子がうかがえました。

一方で、今後AIをどう活用したいかという設問に対しても、「特になし」「わからない」といった消極的な回答が多く、生徒たちの多くが、AIを使う具体的なイメージをまだ持っていない現状も明らかとなりました。このことから、学校としては生成AIの活用を単なる知識ではなく、実際に使いながら体験として学べるような工夫が必要であると考えています。

そこで私たちが重視しているのが、「生成AIをどう使っていくかを学ぶ」ことです。これは、単に操作方法を習得するということではなく、どのような目的で、どのような意図を持って使うかを判断し、

活用できる力を育てることを意味します。用賀中では、これを生徒の学びの中核に据え、段階的かつ継続的に指導を行ってまいります。

たとえば、日常の授業の中で、生成AIを活用して情報を整理したり、自分の考えを深める手がかりとしたりする場面が出てくることがあります。そうした際には、教師によるフィードバックや問い合わせを通じて、AIを単なる答えの提供者ではなく、「考えるきっかけ」として位置づけていくよう工夫していきます。

また、こうした活用に際して最も重要なのが、「倫理的配慮」です。生成AIは非常に便利な反面、著作権の侵害や誤情報の拡散といったリスクも伴います。本校では、「著作権」および「メディアリテラシー」の考え方を、日々の学びの中に自然に取り入れながら、生徒が情報との関わり方を主体的に見つめ直せるような雰囲気づくりに努めてまいります。AIが出力した情報の出どころを意識する力や、他人の創作物を尊重する姿勢、発信する側としての責任感などが、日常の中で少しづつ身についていくことを願っています。

こうした指導は、新しい学習指導要領の方向性とも重なります。私が6月中旬に参加した「NEW EDUCATION EXPO 2025」では、次期学習指導要領において「情報活用能力の育成」が教育の大きな柱として位置づけられることが示されました。AIとの共存を前提とした社会の中で、情報を選び、評価し、自らの判断で使いこなす力が、これからの中学生には強く求められます。

私自身も今年3月、「生成AIパスポート」の資格を取得し、AIの仕組みや活用上の注意点について学び直しました。今後は、日常の授業や特別活動など、さまざまな教育の場面で生徒が自然とAIと関わる経験を積めるようにしていきたいと考えています。

千石先生は講演の中で、「生成AIは電動アシスト自転車のようなもの」とおっしゃいました。自分でペダルをこがなければ進まず、努力を前提に使うことでその力を發揮する。まさに、生成AIとの関係性の在り方を見事に言い表した言葉でした。

今後は、用賀中学校の教育活動全体の中で、部活動や委員会活動、各種行事などを通じて、AIを活用した創造的な取り組みの機会を模索してまいります。生徒の関心や意欲を刺激しながら、深い学びへつながるよう工夫していく所存です。そして、「AIに何を問うか」「どう問い合わせるか」といった、思考力を高める問い合わせづくりにも引き続き力を注いでまいります。

用賀中学校では、生成AIを「考えるための道具」として、そして「学びを支えるパートナー」として位置づけ、情報社会を生きる中で求められる基本的な感覚や姿勢を、日々の学校生活の中で自然と育んでいくよう努めてまいります。地域・保護者の皆様におかれましても、ぜひ本校の取り組みにご理解とご協力を賜れば幸いです。

自分にとっての「しあわせ」とは？

これまでお知らせしておりますが、本校は今年度、「非認知能力の向上」について研究を進めています。ところでなぜ、非認知能力の向上をめざすのか。その答えの一つが「しあわせ」を見つけるため、つかむため、ではないかと考えています。

そこで、マンスリーキャリア（月に一度、テーマに沿った自分の考えを書く活動）の6月は、「自分にとってのしあわせとは？」をテーマにしました。しあわせは一般的に「幸せ」と書きますが、調べると「仕合せ」という表し方もあるようです。「今していることや、これからすること」が、自分にとって「合っている」としたら、それは一体何なのでしょう？

生徒の皆さんはそれぞれに、まっすぐに「自分のしあわせ」と向き合って言葉にしていました。

一部をこちらで紹介いたします。今回は1年生!!

ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校

令和7年度

マンスリーキャリアシート

1年 D組 25番 氏名

書き込みのガイド

4月 16日	昨年度の自分、今自分 少し元気で、少し生き方弱くなっている感じあります。理由としては、 風の吹きすぎで、自分がうまくいかないのが原因です。 やさかだと、弱くなるので、強くして、やさかに会得するはありますか? 一気に強くなるのを無理でなくして、花見、浴衣、アスレチック、 サッカー、卓球などいろいろなことができる良い環境になります。 学校からでもう少し、アスレチックをしてもらいたい。
5月 28日	運動会での自分 いつもストレスが溜まる。毎年ストレスが溜まるのはほんと うまりであります。運命なのでしょうか? うまれたい。 社会の運営に巻きこむが、自分を捨てないのが二択です。それから 自分が捨てなくて、たどりついたときに、自分を捨てたからには、自分 らしさを捨ててはならない。そこまで己の心を最大限に伸ばすには何がいいですか?
6月 18日	自分にとっての幸せ 自分にとっての幸せは人に感謝されると個人的に嬉しい と、大きくモチベーションをもらい、生きてきたの はりみになります。だからこそ、自分で努力して行って見つけ たり作るうと思ふ。 誰かに喜んで貢献する、感謝される、それが自分の幸せ。 そういう気持ち。感謝の気持ちが自分の心の中に入ります。 そんなものがいいなと思います。
7月 9日	1字削除を振り返って&夏休みに向けて
9月 10日	夏休みを振り返って これまでの先生のコメントをみて感じたこと

6月18日	<p>自分にとっての幸せ</p> <p>自分にとっての幸せは人に感謝されることだ。人に感謝されると大きくモチベーションをもらい、生きるためのはげみになる。だからこそ、<u>自分も感謝を行って感謝のサイクルを作ろう</u>と思う。</p> <p>「情けは人の為がめ」という言葉の続句に「<u>巡り巡り己がゆ</u>」ということがあります。感謝の心もまた同じなのかもしれません。その心を忘れずにいたいですね。</p>
6月18日	<p>自分にとっての幸せ</p> <p>いっしょにがんばれる「仲間」がいること</p> <p>部活も勉強も、一人ではできないけど、教えてくれる人や、</p> <p>いっしょに努力してくれる「仲間」がいてがんばることができるから。</p> <p>「仲間」と一緒に切磋琢磨したり、助け合ったりするのも 学校で過ごす大切な、そして大切な時間ですよ。</p>
6月18日	<p>自分にとっての幸せ</p> <p>私は、<u>友達や家族とはなしていることをしあわせと感います</u>。人とやういあって顔をみているとき、<u>友達と目標をきめそれにむかってみんなでがんばっていることをなど</u>しているときです。<u>そばにいてくれている人をこれからも大切にして私がみんなからもらっているしあわせをたれに自分があけられるようになります</u>といっています。<u>自分で幸せを自分で自分でつかむ</u>。幸運がたがい。</p>

6月18日	<p>自分にとっての幸せ 家族と一緒にごはんを食べたり一緒にいたり <u>と家族という時</u>が自分にとっての幸せです。</p> <p>家族の時間を幸せ、を感じられることが素敵ですね。これからもその気持ちを大切にしてくださいね!</p>
-------	---

用賀中学校おやじの会主催

側溝清掃ボランティア

6月21日(土)に、延期開催として行いました。部活動単位での参加も多く、今回は70名を超える生徒がボランティア活動を行いました。校庭の体育倉庫付近の側溝は、雨が流れ込みやすくラインパウダーも入るため多くの砂が入っていましたが、数の力ですっきりと取り除くことができました。

この姿こそまさに「自立、敬愛、精励」だと思います。家庭や地域の支えの中で健康に強い心身に成長している生徒たちが自立して、敬愛に基づき、精励する活動を行った、その清々しい姿と笑顔に感動しました。

協力した生徒のみなさん、進めてくださったご家庭の皆様、そして主催および当日の活動を進めていただいた用賀中おやじの会 会員の皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



フォトスライド↑



○側溝を綺麗にするのがとても大変でした。普段授業や休み時間に生徒が使っているところをおやじの方々や先生方も綺麗にしてくださったので感謝しないといけないなと思いました。（生徒）

○とても暑い中、たくさんの人と協力して、側溝掃除を行うことができて、とても自分の中でも、達成感を得ることができました。（生徒）

○とても大変だった。でも、やりきった時の達成感が素晴らしいかった。（生徒）

●気温などを考えると、朝の開始で時間も適当だったと思います。11月頃なら午後に3時間ぐらいできれば広い範囲がカバーできるのではないかでしょうか。
(おやじの会 会員)



学校公開・学び舎研究授業・道徳授業地区公開講座

6/25(水)~30(月)まで学校公開を行い、その中で25日には5校時に学び舎研究授業として用賀小、京西小の先生方が参観に来て、嬉しそうにする生徒も多くいました。参観される保護者のみなさまの中にも、小学校の先生に意図せず再会できてよかったですという感想もいただきました。研究授業のあとは「中見守りプラン」という、本校1年担当と、その生徒にかかわりのある小学校の先生方が情報交流をしました。生徒一人ひとりの個性や効果的な対応方法などをよりよく知ることができ、今後にとって大変有意義な機会となりました。

26日(木)は道徳授業地区公開講座を開催しました。これは東京都教育委員会が平成10年度から継続している取り組みで、その目的を「学校、家庭及地域社会が一体となって子供たちの豊かな心を育むとともに、小、中学校等における道徳教育の充実を図ること」と位置づけています。

今回は「せたホッピ」(せたがやホッピ子どもサポート)より、平尾 潔(ひらお きよし)先生をお迎えして、「子どもの権利」について講演をしていただきました。

●学校の雰囲気や普段の子供の様子を見られたこと。楽しそうで安心しました。

●講演会ありがとうございました。平尾先生のお話は難しそうではありましたでしたが、とても身近で本来当たり前の事であってほしいことと感じました。意見交換では、4時間目の授業内容を先生が紹介してくださり、生徒の多様な意見も拝見できる貴重な時間でした。道徳は正解がないとのこと。まずは多くのいろいろな意見があると知ることができ、他の子の意見も含めて考え、成長していくのだと改めて感じることができました。ありがとうございました。



学び舎研究授業（1年理科、物質の判別）



中1見守りプラン、小学校との情報交流



講演「子どもの権利～あなたがしあわせに生きるために」

「エシカル」を、英語を通して。

3年生の英語では、「エシカル」をテーマにした学習が展開されていました。英語では“ETHICAL”と書き、代表的な訳は「道徳的・倫理的」という言葉です。

この“ETHICAL”なものって、何があるだろう?調べて、まとめて、伝えよう!…というのがこの英語の単元のテーマのようでした。英語を「通して」未来の持続的な幸福に向けた具体的な取り組みを、一人ひとりが自分で調べ、自分達のものとして共有する。一人一台端末も十分に活用した、令和らしい授業でした。

生徒もこのテーマを十分に理解し、よく惹きつけられている様子でした。百聞は一見に如かずで、作品にその思いがギュッと詰められているのが伝わります。



Protect Beautiful Sea!

Some companies have been developing different kinds of ethical products.

This t-shirt is made from plastic bottle.

This t-shirt is kind to the environment from sea. They can decrease to plastic trash.

By choosing this t-shirt, you can protect beautiful sea and animals in the sea.

LET'S BUY AND USE PAPER TRAY TO SAVE THE EARTH!

Paper tray is an ethical product. It's made from recycled paperboard and cardboard: thick paper. So it doesn't use any plastics.

It's very good for the environment. It's also animal free. Its quality has been developing, so we'll never feel any inconvenience. It's safe for our health, too.

By choosing paper tray, we can reduce plastic wastes and can save our planet and environment. Let's choose paper tray and be good for the Earth!